

職業訓練短期大学校における
カリキュラム編成とその展開過程

研究担当者 訓練教科方法研究室
富田康士

序

周知のように、わが国における短大レベルの職業教育機関は、文部系短期大学、専修学校専門課程、それに事情は異なるが高等専門学校と多様である。

このような状況の中で職業訓練短期大学校も10年余の歴史を持って発展してきた。いま職訓短大に求められていることは、他の種類の教育機関からの独自性を求めた教育の理念が、社会でいかに評価されているか、またそこにある問題点は何かについて情報が整理され、制度の目的がいかに生かされているかを見つめてみることであろう。

著者も指摘するように、この研究の主題は職訓短大卒業生のキャリアがどのように形成されているかの解明にある。本報告はそのための予備的な研究として、まず、それを可能とするカリキュラムがどのように編成されているか、その編成過程における規定要因は何であるかについて実態を解明しようとしている。その意図するところは、カリキュラム編成の実態とのかかわりで卒業生のキャリアの形成を捉えようとしていることである。したがって、ここで明らかにされた結果は、次に計画されている卒業生の就業の実態の解明に引きつがれることになる。しかし、本報告で明らかにされた情報自体も、各校がカリキュラムを編成し、見直しをはかる上で役立てていただけるものと思う。

職訓短大においては、一般に向上訓練、能開訓練に比べて基礎的な資料の整理は遅れている。本報告が御関係者に広く読まれ、職訓短大の発展のために少しでも役立てていただくことができれば幸いと考えている。

御関係者の御意見、御批判をおきかせいただければと存じます。

なお、最後に、本報告に用いた資料の収集にあたっては実に多くの先生がたに貴重な時間を頂戴して御協力をいただいている。ここに記して御礼申し上げます。

昭和60年8月

職業訓練研究センター所長

多賀谷 敏 夫

訓研調査研究資料

第 62 号

職業訓練短期大学校における
カリキュラム編成とその展開過程

発 行 1985年8月

発行者 職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏 夫

〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911(代)

印 刷 (有) 旭 印 刷
相模原市上溝4-16-23
電話 0427-61-3488